

2011 年度日本気象学会関西支部第 2 回例会（四国地区）プログラム

日時：2011 年 12 月 17 日（土）13 時 00 分～17 時 40 分

場所：香川大学生涯学習教育研究センター第一講義室

（香川大学幸町北キャンパス・研究交流棟 6 階）

開会のことば（13 時 00 分～13 時 05 分）

四国地区理事 永澤 義嗣（高松地方気象台）

一般講演 1 題 18 分（講演 15 分+質疑 3 分）

セッション 1（13 時 05 分～14 時 35 分）

座長 村田 文絵（高知大学）

以降,* は発表者をあらわす。

- 1 やまじ風発生時の気象状況について（6） - 法皇山脈上と麓の風の比較 -
* 森征洋（香川大学名誉教授）・寺尾徹（香川大学教育学部）
紀井伸章（西条市立東予西中学校）
- 2 局所的集中豪雨の防災教育教材の開発
井面仁志・白木渡・長谷川 修一・野々村敦子（香川大学工学部）
寺尾徹（香川大学教育学部）・* 藤井克樹（香川大学工学部）
- 3 地元高校生と連携した松山市のヒートアイランド現象の調査
* 水口結貴・西川敦（愛媛大学農学部）
- 4 梅雨前線による香川県の大雨（2009 年 7 月 20 日の事例）
* 大黒正夫・細木光・田中滋司・山西大輔・平井明宏・内藤健治
山下寛（高松地方気象台）
- 5 台風による四国地方の瀬戸内側の大雨特性について
（平成 23 年台風第 2 号、第 12 号の事例）
* 濱田浩一・水野善夫・山岡和弘・山下寛（高松地方気象台）

休憩（14 時 35 分～14 時 50 分）15 分

セッション 2（14 時 50 分～16 時 20 分）

座長 寺尾 徹（香川大学）

- 6 近年の梅雨期における松山での大雨発現時の気象特性について
～2011年7月4日の事例解析を併せて～
* 一広志 (日本気象予報士会四国支部)
- 7 2011年8月21日に福岡市で発生した竜巻環境場の解析
* 小林哲也・佐々浩司 (高知大学理学部)
- 8 台風12号に伴う豪雨の解析および那智勝浦町・新宮市の被害調査
* 汐崎由香 (高知大学理学部)・山田幸彦 (京都大学防災研究所)
村田文絵 (高知大学理学部)・林泰一 (京都大学防災研究所)
- 9 高知県内に大雨をもたらす総観場の統計解析
* 越野冴月・佐々浩司 (高知大学理学部)
- 10 四国の停滞性線状降水帯における地形及びコールドプールと下層風の鉛直シアアの役割
* 鵜沼昂 (高知大学大学院総合人間自然科学研究科)・村田文絵 (高知大学理学部)

休憩 (16時20分～16時35分) 15分

特別講演 (16時35分～17時35分)

座長 永澤 義嗣 (高松地方気象台)

「“集中豪雨”の統計的な解析、及び2010年10月20日の奄美豪雨

気団変質過程による暖湿気塊の形成」

津口 裕茂 氏 (気象研究所予報研究部第三研究室)

閉会のことば (17時35分～17時40分)

四国地区理事 寺尾 徹 (香川大学)

懇親会 (18時ごろ～)

香川大学生協会館